

第2章 山口県教育の推進

1 山口県教育がめざす目標

本県教育の目標

未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

やまぐちっ子のすがた

高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人

- 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- 大きく変化することが予想されるこれからの社会において、将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜しまず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを受け入れようとする態度を身に付けている。

知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人

- 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- 様々な人々とのつながりや支え合いが求められるこれからの社会において、他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、他者と協働して自己のよさや可能性を見出し、個性を發揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。

郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

- 人、もの、情報等が地球規模で行き交い、多様な文化や価値観に触れる機会が増加するなど、広がりゆく社会において、豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動することができる。
- また、そのような時代だからこそ、自分を育んできたふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にす気持ちをもち続け、ふるさとや自分が住んでいる地域のよりよいコミュニティづくりなど、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

目標達成に向けて

3つの力

学ぶ力

これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力

創る力

社会構造が大きく変化中、よりよい未来に向かって新たな価値を創り出す力

生き抜く力

自己を肯定し、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携・協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力

3つの心

広い心

互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで広い心

温かい心

人間に対する深い愛情や自然・生命に対する畏敬の念などを基盤とした、豊かで温かい心

燃える心

大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心

2 コミュニティ・スクール

1 コミュニティ・スクールとは

- コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会制度を導入した学校」のことである。
- この学校運営協議会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて教育委員会が学校に設置するもので、地域の住民や保護者をはじめ、小・中学校や大学、企業、地元自治体の職員等で構成される。その役割は、校長が作成する学校運営の基本方針を承認することや、学校の運営に関する事項について意見を述べることなどである。
- これらの取組を通して、学校と地域が目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となることから、コミュニティ・スクールは、社会総がかりでの教育の実現を図っていく有効な仕組みである。

2 本県におけるコミュニティ・スクールの推進

(1) 小学校・中学校（中等教育学校前期課程を含む）・特別支援学校

- 市町立小・中学校においては、平成28年度に設置率100%を達成した。各中学校区で地域ネットワーク（地域協育ネット）を形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進している。
- 
- 特別支援学校においては、平成30年度に設置率100%を達成した。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムを構築し、小・中・高等学校のコミュニティ・スクールと連携した交流及び共同学習を推進している。
 - これらの取組により、子どもたちの自己肯定感・自己有用感の高まりや、地域の行事やボランティア活動への積極的な参加などの成果が見られるほか、「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」と考えながら生活を送っている子どもたちの割合が高くなっており、学力についても向上・改善傾向が見られるところである。

(2) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む）

- 高等学校においては、平成28年度に初めて3校にコミュニティ・スクールを導入してから段階的に導入を進めてきており、令和2年度までには全ての公立高等学校に導入することとしている。
- 高等学校では、小・中学校や特別支援学校において地域学校協働活動を経験した生徒が入学していることを踏まえ、コミュニティ・スクールとしての取組を検討・実施する必要がある。
- 本県の高校におけるコミュニティ・スクールは、学校・学科の特色や専門性に応じて、地域や大学・企業等と連携・協働した探究的な学習を推進することにより、学校や地域の課題解決に取り組む「テーマ型コミュニティ・スクール」と位置付けている。



- 各高校では、「育てたい生徒像」や「めざす学校像」等を学校と地域で共有し、協働体制を構築しながら、地域資源を生かした専門性の高い豊かな学びを実現するとともに、郷土を愛する心や地域の担い手としての意識の向上を図ることとしている。

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進

- 小・中・高等学校の各段階を通じて、**全県的な規模で、学校と家庭・地域の連携・協働**による取組を推進
～ 地域の活性化や地域課題の解決に向けた**拠点**としての
コミュニティ・スクールの機能の一層の充実 ～

山口県地域連携教育

「やまぐち型地域連携教育」の推進

市町立小・中学校コミュニティ・スクールの**設置率100%**

コミュニティ・スクールを核とし、「**地域協育ネット**」の仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組を推進

【成果】

- 子どもたちの**学力向上**、**郷土愛**や**地域貢献・社会貢献の意識**の高まり等

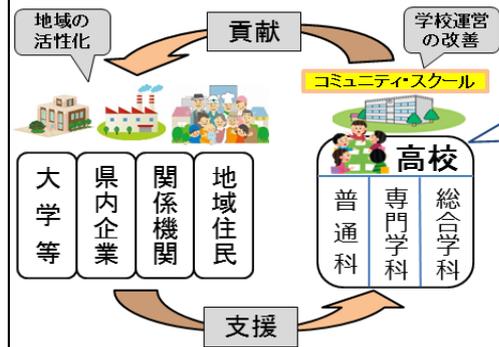
連携・協働する教育の継続

「テーマ型コミュニティ・スクール」の推進

令和2年度までに**全ての公立高校**にコミュニティ・スクールを導入

※県立特別支援学校は、平成30年度までに全校導入

人づくり・地域づくりの好循環



◎学校・学科の特色や専門性に
応じた、**高校ならではの取組**
の推進

地域の活性化に
貢献する活動

【具体的取組】

- ▶ 地元企業等と連携した**特産品**や**新たな観光ルート**の開発
- ▶ 地元自治体への**まちづくり**に関する提案
- ▶ 大学と連携した**模擬授業**等による**キャリア教育**の充実

地域資源を生かした子どもたちの**豊かな学び**を実現
～ **郷土を愛する心**や**地域の担い手としての意識**の育成 ～

地域に愛され、地域とともにある学校づくりの推進

本県の将来を担う人材の育成

人口定住・地方創生の実現

3 コミュニティ・スクールにおける「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

- 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしなが、**社会との連携及び協働**により、その実現を図っていく（「**社会に開かれた教育課程**」の実現）ため、本県においては、コミュニティ・スクールを有効に活用していくこととする。
- 各学校においては、学校運営協議会を活用して、学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有・熟議し、**地域社会等との双方向の連携・協働体制**を構築しながら、**教育課程の実施に必要な体制を確保**するとともに、**教育課程の実施状況を評価してその改善**を図っていく「**カリキュラム・マネジメント**」を通じて、教育活動の質を向上させる。